

発刊に寄せて



本年度における「初月まちづくり連携活動協議会」の事業計画実施については、年度当初に発生した[新型コロナ]の感染拡大によって多大の影響を受けて、殆どが実践できなかったのが現状でした。

今後もしばらくは、厳しい状況が考えられますが、感染拡大防止に努めながら、安心して参加できる環境や体制を考え、事業実施に向けて

協議を行っていきます。今年度は、初月地区まちづくり活動の活性化を目指した役員組織の充実のため、町内の各団体から推挙を得て、5名の方を[推進委員]として参加をいただいております。

こうした方々の協力を得て本会の活動が進展できるように願い、また、沢山の方々に興味、関心を持っていただけるように努めていきます。

新型コロナの感染や発病が一日も早く終息することを願うとともに、初月地区のまちづくり連携活動が一層発展できますように、情報やご意見、ご要望がありましたら、お寄せ下さい。ご協力をお願い申し上げます。



初月まちづくり連携活動協議会
会長 森田 道明

初月まちづくり連携活動協議会

～まちづくりかわら版～ みかづき



[第4号]

2021.3 発行

～ 初月地区から学ぶ ～

「ともに生きる」の学習を通して成長する子どもたち

高知市立初月小学校

本校では、教科などで学んだ力を実際に使う場として「生活科」(1・2年生)や「総合的な学習の時間」(3～6年生)の学習を設定しています。

1年生は、友達や学校、地域や自然に親しむ学習を行います。2年生は、初月地区の「まちたんけん」を通して自分の住んでいる地域を知る学習を行います。

3年生は、人を通して初月地区について調べ、もっと住みよいまちにするために自分たちのできることは何かを考える学習を行います。4年生は、地域との関わりを深める学習を行います。

5年生は、初月地区の防災について知識だけでなく、地域の方にインタビューをしたり、体験を通して技術を身につけたりする学習を行います。6年生は、今までに学んだことをベースに、平和学習やキャリア教育を行い、自分の生き方について考える学習を行います。

3年生は、「ともに生きる」をテーマに、初月地区のよさを見つける学習を行いました。よさを見つける学習では、よさと



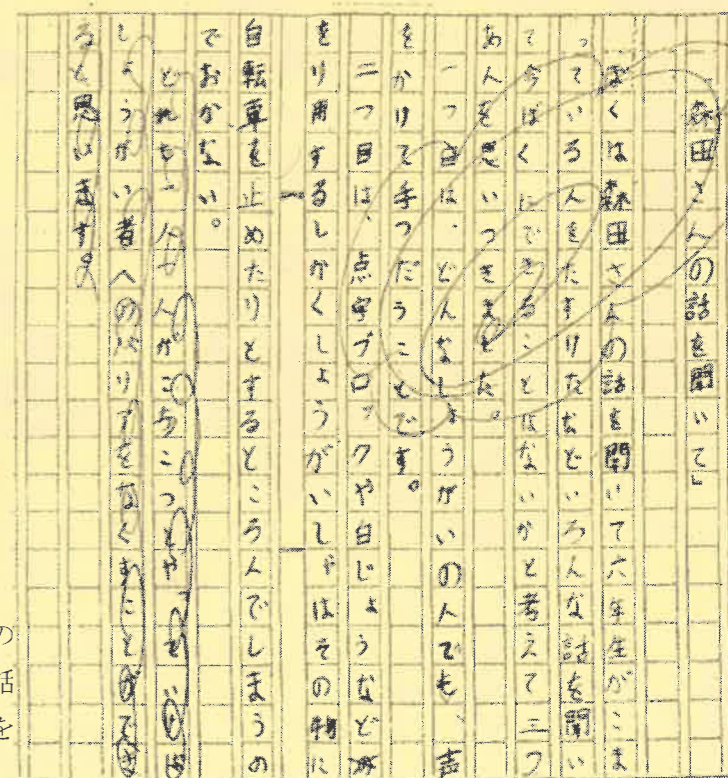
ともに課題に気づき、自分たちにできることを考えていきました。地域の方や家族に話を聞いたり、上級生にインタビューをしたり、実際に町の様子を観察したりして学習を進めました。地域の方に話を聞く活動では、地域の方々に支えられていることを実感させ、自らも地域を支える一人だという自覚を持たせるとともに、地域と関わろうとする気持ちを持たせるようにしました。

地域の方にお話を聞く学習では、11月20日に初月まちづくり連携活動協議会から会長の森田道明さんを学校にお招きし、「公民館の仕事」と「万々商店街の取り組み」についてお話をお伺いしました。昔の初月地区の自然の様子から、町の様子まで教えていただくことができました。子どもたちにとって知らないことがほとんどでしたので、とても興味深くお話を聞くことができました。



その後、子どもたちは、あたたかく住みやすい初月のまちにするために何ができるのかを考え、グループで話し合いました。そして、グループごとにまとめたことを2年生やお家の方にも発信をしたいと考えています。

子どもたちには、保護者や地域の方々のご協力を得て、自分たちが生まれ育った「初月地区」を大好きになり、誇りに思う心を育てていきたいと思っています。



(3)年(4)組

私たちが地域活動応援隊です!

北添



森



山中



大西

地域活動応援隊とは・・・

高知市では、地域の課題解決に向けた活動の促進や、地域と行政の協働による地域づくりを推進するために、専任ではなく通常業務と兼務した「地域活動応援隊」を配置し、「地域内連携協議会として認定した団体」を支援します。

※地域活動応援隊の活動は、高知市地域コミュニティ推進課の所管です。(担当: 八月一日)

●発行元: 初月まちづくり連携活動協議会

●編集責任者: 森田道明

(住所: 高知市南久万119-1 初月ふれあいセンター内 電話: 872-5527)

初月地区防災会の活動紹介

南海トラフ地震から命を守るため

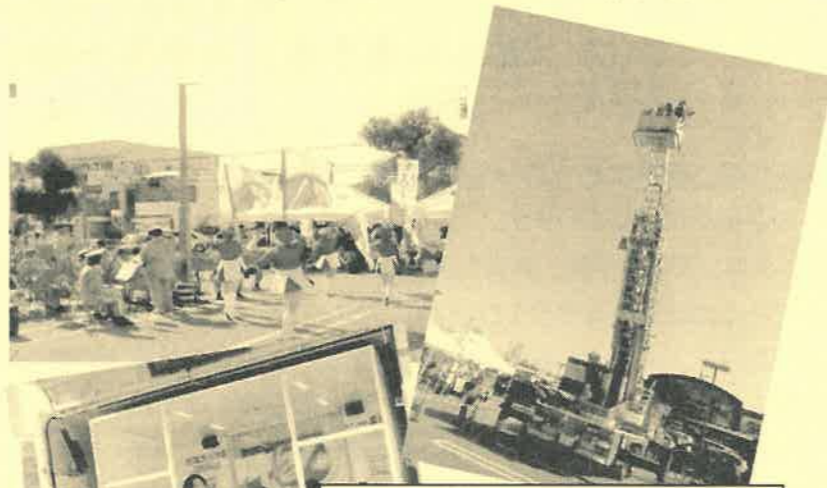
初月地区内の全ての町に「自主防災会」が結成されていて、各町内で学習会や訓練など防災活動を行っています!

自主防災会相互の連携をとるために「初月地区防災連合会」が結成され、初月地区全体に共通する防災課題の解決のために活動を行っています。

年間通じて、次の活動を行っています。

- ① 「みかづきふれ愛フェア(防災・防犯)」(毎年11月開催)
- ② 高齢者や障がい者などの避難行動要支援者836名の避難計画作成と避難訓練を実施
- ③ 初月小学校(ふれあいセンター含む)、高知ろう学校の避難所開設・運営マニュアル作成及び避難所運営訓練
- ④ みかづき防災塾、防災リーダー・防災士研修会(毎年開催)
- ⑤ 初月小学校防災授業
- ⑥ 初月ふれあいサロン防災学習
- ⑦ 紅水川・久万川浸水対策の高知県・高知市との協議(内水排水ポンプ設置・河床掘削などの対策実現)
- ⑧ 防災士の育成(現在 72 名)

初月地区防災連合会 会長 松下潤一



みかづきふれ愛フェア(防災・防犯)
毎年11月開催(参加者 800 名)



避難行動要支援者個別計画作成&
支え合いマップづくり学習会
(参加者 4 ブロック 107 名)



避難行動要支援者避難訓練
(参加者 549 名)

久万川の氾濫
2019.10.03



防災リーダー研修会
毎年開催



初月小5年生親子防災授業
(参加者210名)

初月地区で想定される 南海トラフ地震の脅威!!

脅威 1 震度 7 の揺れ

南海トラフ地震発生時に【震度 7】の揺れが 3 分以上続きます。

古い木造建物の倒壊や家具・電化品などが倒れることで下敷きになる恐れがあります。

建物の耐震化や家具・電化品を固定して命を守る備えをしておきましょう。



脅威 2 液状化・地盤沈下

久万川と紅水川に挟まれた平野部は、地下水が浅く、水分を含む泥や砂が堆積した軟弱地盤で形成されています。

そんな地盤の上にたくさんの住宅や商店が建ち並んでいます。

こうした軟弱地盤は揺れに弱く、過去の大規模地震では【液状化】や【地盤沈下】による被害も発生しています。

自宅の地盤を調査し、地盤改良などの備えをしておきましょう。



脅威 3 土砂災害

初月地区の北部に連なる山間の大規模住宅団地などの【土砂災害警戒区域】や【盛土造成宅地】では、地震の揺れで土砂崩れやがけ崩れ、地すべり、土石流などの土砂災害が起こる可能性があります。

日頃から、土砂災害の前兆現象などを調査し、危険箇所を把握しておき、土砂災害防止のために擁壁の設置や改修などの対策をしておきましょう。



脅威 4 津波浸水深 0.3m~1.0m 到達時間 60 分超

津波は久万川や紅水川を遡上して、破堤箇所や水路から浸水する可能性があります。想定される浸水の深さは 0.3~1.0m、到達時間が 60 分超となっていますので、2階への垂直避難などで落ち着いて対処しましょう。

今からできる我が家の防災 南海トラフ地震に備える!!

- ① 食料・水などの備蓄は最低でも3日以上、できれば7日分用意をしておきましょう。
- ② 避難時に必要な非常持出品をリュックなどに入れて準備をしておきましょう。
- ③ トイレや下水道が壊れてトイレが使えなくなります。簡易トイレなど準備をしておきましょう。
- ④ 指定避難場所は、初月小学校、高知ろう学校、初月ふれあいセンターです。あらかじめ何処に避難するか家族で決めておきましょう。新型コロナウイルスなどの感染症が広がっている場合は、感染を避けるため自宅や親類・友人・ご近所などに分散避難することを考えておきましょう。

次回は初月校区交通安全会議の活動をご紹介します。